

令和元年度 商店街サポーター創出・活動支援事業 成果発表

企業の障がい者雇用を活用した新しい持続可能な経済モデル

メガロタウン5番街商店会 + イズミヤ株式会社

イズミヤの遊休店舗を活用した

地域へのコミュニティ支援拠点

平野宮町みんな食堂

平野宮町みんな食堂がオープン

2020年2月5日(水)、
JR平野駅前のイズミヤ平野店内に
1970年代以降、地域で共存してきた
地域商店街(メガロタウン5番街商店会)
と大規模店舗「イズミヤ平野店」が
地域のためにコラボした
全国でも珍しい地域食堂が誕生しました。



メガロタウン五番街商店会 板橋会長・丸谷監事、イズミヤ平野店 成次店長

**あしたに
ちやれんじ**

中川 悠

地域住民の孤食防ぐ

店舗の垣根越え「平野宮町みんな食堂」

「この食堂、私たちが入って...」
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...

「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...

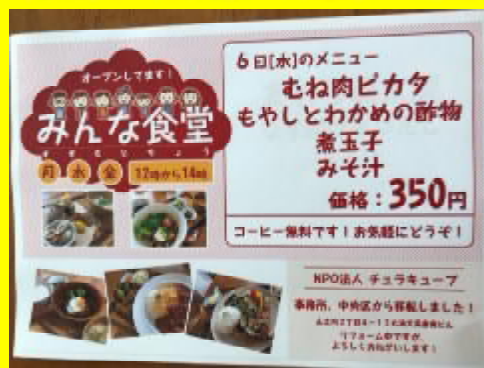
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...
「あしたにちやれんじ」の企画、私たちが入って...

毎日新聞 2020年3月6日(金)朝刊(大阪市・神戸市版)掲載

週3回の継続的な運営



- ◆オープン説明会
2020年2月2日(日)13時～
- ◆地域食堂の開業日
2月5日(水)以降の
毎週水・木・金 12～15時
- ◆月に2回程度のイベントを開催予定
・近隣商店街の店主が講師となる
「まちぜみ」(地域連携)
・このスペースの利活用方法を
住民らと考える「ワークショップ」



- ◆体制
・運営主体:株式会社GIVE&GIFT
※住吉区では大阪府住宅供給公社と連携した地域食堂を運営
・2019年度グッドデザイン賞受賞
※西区では大阪市立中央図書館の地下レストランを運営
・スタッフ:平野区内の子ども食堂メンバー
企業雇用の障がい者スタッフ
・協力 :市社協

平野宮町エリアの社会課題

【商店会に関して】

- ①約50年前に建てられた**1000戸**のメガロコープの住民の超高齢化
- ②商店会の店舗の減少
 - ・飲食店などの減少
 - ・クリニック・福祉施設の増加
- ③商店会のメンバーの高齢化

【イズミヤに関して】

- ①住民の高齢化による購買者の減少
 - ・家から出ることができない
 - ・1部屋に居住する家族の減少
 - ・高齢者施設への入居による転居
- ②イズミヤの空き店舗の増加
 - ・若い世代は他店舗を利用



【解決プラン】

メガロタウン5番街商店会の中の空き店舗で地域の高齢者や子どもたちを対象とした「**地域みんな食堂**」を運営すれば、商店街の活性化としては**空き店舗対策**に、**1000戸**の住民の地域の**居場所**として活用可能に。

しかし、不動産会社の手違いで、当該物件が別の福祉業者に貸し出されてしまうことに…。



経緯：イズミヤ平野店内での地域食堂ができるまで

2019年6月 大阪府の支援先として、JR平野駅前の
メガロタウン5番街商店会が採択される



2019年8月 地域との打ち合わせ開始。商店会の中の新しい拠点で
住民が主体となる場所を作るための、地域ワークショップを開催。

2019年10月 当初目的としていた物件を元に、地域食堂の開設準備に入るも、
当該物件を断念。商店会とともに新しい地域食堂の物件を探す。

2020年12月 イズミヤ平野店とつながりができ、商店会・イズミヤの双方で打ち合わせ。
食堂を通じて、住民交流の促進やイズミヤと商店会とが連携した取り組みを実施
することで合意。大規模店舗内の空き店舗を地域全体の居場所とする構想に着手。

2020年2月 地域の皆さんのチャレンジが実現する新しい居場所がスタート！
近隣住民・こども・ママ世代が集まる拠点が継続的に存続！

取り組み内容

イズミヤの店舗内の地域食堂

平野宮町みんな食堂

目的:みんな食堂で実施する3つの取り組み

昼ごはん の提供

最初は週に3日、地域の子ども支援団体や当法人が運営している食堂空間と連携し、住民に安価でのランチを提供。



多世代の 交流

ボランティアには子ども食堂運営団体、大学生も参加。学生・高齢者、障がい者が対等につながる場づくりを目指す。



住民の困りごと ヒアリング

こどもから大人まで生活の中に困りごとを抱えている住民と食事を通して会話をヒアリング。食堂としてできることを検討。



ターゲットと地域連携

食事づくり:①地域のこども食堂を運営するママたち

②企業が雇用をした障がいのある人々が出向

利用者 :メガロコープに住んでいる孤食に悩む高齢者

平野駅周辺に住んでいるコミュニティを求める方

こども食堂の対象となる困窮世帯

地域連携 :地域の2つの商店街、子ども食堂ネットワーク

大阪市社会福祉協議会、大阪府(商店街振興事業)

学生ボランティア団体(常磐会学園大学、桃山学院大学など)

商店会での定例会議

初開催

夢とアイデアがまちを変える



平野宮町みんな食堂 まちづくりカフェ

毎月
開催

定例会議 2019年8月～2020年3月（毎月開催）

アイデアワーク 2019年10月～2020年2月（住民を交え、毎月オープンに）

場所 平野宮町界隈

大阪府の「令和元年度 商店街サポーター創出・活動支援事業 課題解決プラン」にて、「平野宮町での地域食堂」をつくるアイデアが優秀プランとして採択されました。メガロコブに暮らしの高齢者や子育て世代、その他にも幅広い方が気軽に集える場を2019年秋からメガロタウン5番街界隈に作っていきたくと考えています。その実現に向けて、「地域の皆さんとの定例会議」「あしたにちゅれんじワークショップ」を企画。継続的に平野宮町を応援できる優しい仕組みを、みんなで企画していきたいです。



定例会議

プログラム

- <参加していただきたい方々>
- ・メガロタウン5番街商店会の皆さん
- ・平野みんな食堂ネットワークの皆さん
- ・大学生の皆さん
- ・地域住民の皆さん

あしたにちゅれんじワークショップ

10月以降、毎月、新しい地域食堂を拠点として、地域の相手を元気にするアイデアを考え、具体的なカタチにしていくワークショップを開催。

ワークショップには、こんな特典も

- ・まちづくりの専門家がアイデア実現をサポート
- ・アイデア実現には若干の予算あり

運営窓口 平野宮町みんな食堂運営委員会

電話：06-6226-7993
FAX：06-6226-7998 Mail：otayori@chura-cube.com

この事業は大阪府（商店街サポーター創出・活動支援事業）の委託を受けて、株式会社GIVE&GIFTが実施しています。

主催：株式会社GIVE&GIFT



↑メガロタウン5番街商店会の丸谷監事を中心に月に一度の定例ミーティングを開催。また、地域ボランティア団体などとは個別に小規模なミーティングを開催し、食堂空間の利用方法、食事の提供方法などに検討を重ねました。

地域ワークショップを10月・2月に開催



参加費 無料

平野宮町まちづくりカフェ

私たちが
平野は
私たちの
つらく
私たちが
つらく
ろうで
うで
!

JR平野駅前に、地域の皆さんが集いの場となる地域の交流食堂のオープンを目指し！みんなのアイデアやお困りごとに耳を傾けるワークショップを重ねて、ぜひ、ご参加ください！



参加費 無料

平野宮町まちづくりカフェ

私たちが
平野は
私たちの
つらく
私たちが
つらく
ろうで
うで
!

JR平野駅前に、地域の皆さんが集いの場となる地域の交流食堂のオープンを目指し！みんなのアイデアやお困りごとに耳を傾けるワークショップを重ねて、ぜひ、ご参加ください！



ワークショップで実現したい2つのこと

① JA平野駅前に新しく地域交流の食堂をつくりたい！

② 地域で暮らす皆さんからのアイデアを実現したい！

平野宮町に大人も子どもも集まれる地域の交流食堂を計画中！

例えば、こんなアイデア！！

- ・子どもが主役になるイベントをつくりたい
- ・みんなが集えるお祭りをしたい
- ・立派にコーヒーを飲みたい
- ・自分の趣味をみんなに伝えたい
- ・親子の居場所が欲しい
- ・てづくり弁当を自由に楽しみたい

令和1年 10月30日(水) 13:30～15:30 **途中からの参加も大歓迎**

会場 元町センター（大阪市平野区平野元町1-16）

運営窓口 平野宮町みんな食堂運営委員会 主催：株式会社GIVE&GIFT

電話：06-6226-7993
FAX：06-6226-7998 Mail: otayori@chura-cube.com

ワークショップで実現したい2つのこと

① JA平野駅前に新しく地域交流の食堂をつくりたい！

② 地域で暮らす皆さんからのアイデアを実現したい！

平野宮町に大人も子どもも集まれる地域の交流食堂を計画中！

例えば、こんなアイデア！！

- ・子どもが主役になるイベントをつくりたい
- ・みんなが集えるお祭りをしたい
- ・気軽にコーヒーを飲みたい
- ・自分の趣味をみんなに伝えたい
- ・親子の居場所が欲しい
- ・てづくり弁当を自由に楽しみたい

令和2年 2月18日(水) 14:00～15:30 **途中からの参加も大歓迎**

会場 平野宮町みんな食堂（イズミヤ平野店 1F うどん屋跡）

運営窓口 平野宮町みんな食堂運営委員会 主催：株式会社GIVE&GIFT

電話：06-6226-7993
FAX：06-6226-7998 Mail: otayori@chura-cube.com



↑メガロコープの1000戸へのチラシ配布や近隣住民に呼びかけ、地域食堂の可能性を探るワークショップを開催。参加者はメガロコープ住民・子ども食堂スタッフなど、20～80代までの約15名が集まった。新しい場所に期待すること、やってみたいことを募集し、「自分たちも手伝いたい」「友達と会える居場所が欲しい」「食事が困っている」などの生々しい声も届いた。

2020年2月2日(日) 食堂のオープニング説明会を実施

みんな食堂がやってくる!

週3日、350円で健康ランチ! ※食堂は2月5日(水)から

おとな・子ども、みんなの新しい居場所!

平野宮町

みんな食堂



水 木 金

12時から15時

※食堂は2月5日(水)スタート

オープニング説明会

ふるまい善哉(50食限定)付き

2月2日 日

場所 イズミヤ平野店 一階
うどん屋跡

時間 13:00~15:00

内容 食堂からのご挨拶、ふるまい善哉、皆さんからの企画の募集!

運営窓口

平野宮町みんな食堂運営委員会

主催: #おたごいMEGURI

電話: 06-6226-7993

FAX: 06-6226-7998 Mail: otayori@chura-cube.com

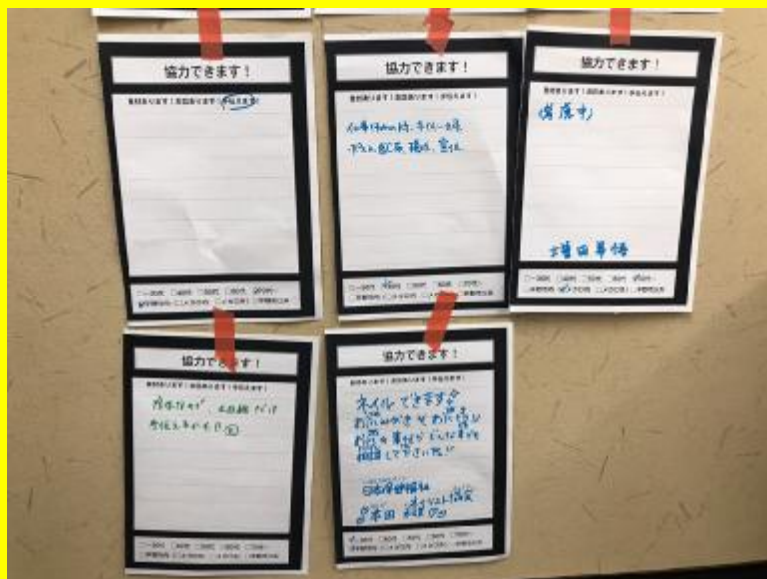
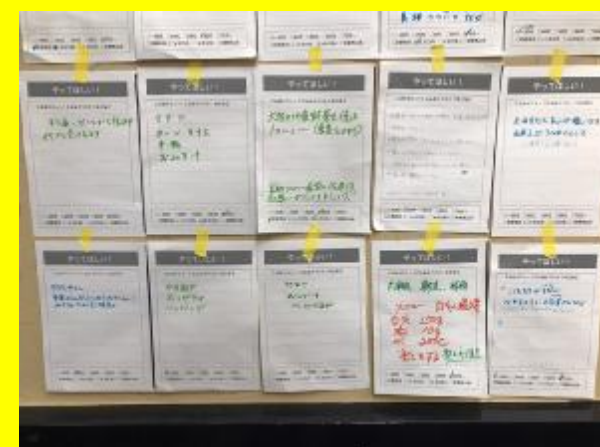
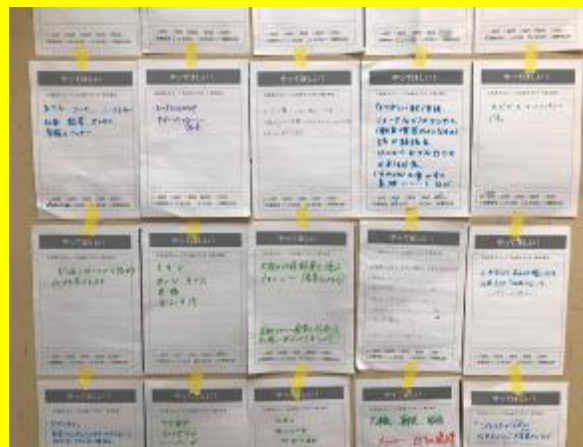
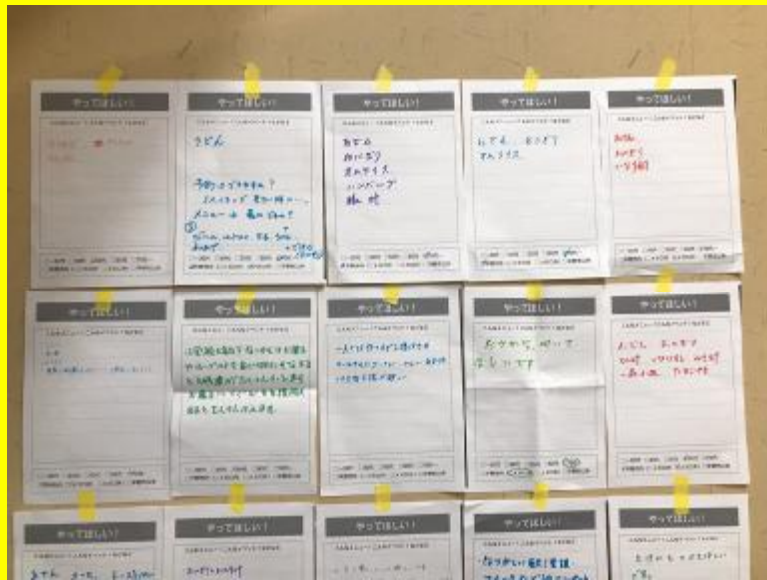
この事業は大塚町(町政振興センター)・平野宮町(町政振興センター)の助成を受けて、株式会社V.C.C.の協賛で行っています。



メガロープに居住する**1,000戸**へのチラシ配布、近隣への個別配布などを通して地域食堂のオープン情報を発信。**10代~80代**まで、約**30名**の住民が集まってくださいました。「ふるまい善哉」も人気で、今後の継続的な顧客づくりに役立ちました。

また、2月5日(水)以降は水曜・木曜・金曜の週3日オープンし、平均的に一日**20~30名**の住民が足を運んで来ています。

ワークショップを通して「やってほしい」と「手伝えます」が数多く集まりました



【やってほしい】

- ・こんなメニューを作ってほしい
- ・食事づくりに困っているので助けてほしい
- ・お弁当を作ってほしい
- ・フォークなどの歌声喫茶をしてほしい
- ・小学校以下を対象にした駄菓子屋さんをしてほしい
- ・子どもたちが店員になるお店イベントをしてほしい
- ・絵本の読み聞かせをしたい

【手伝えます】

- ・学生なので土日祝は手伝えます
- ・高齢者で時間があるので手伝えます
- ・障がいがあるけど、ここなら手伝えそう
- ・福祉に関する資格とネイルの資格があります。

(※赤字下線は実現をした住民アイデア)

ワークショップから出た住民の「やってみたい」が 平野宮町みんな食堂で実現

子どもたちへ 絵本を 読み聞かせたい

子どもたちの数が大阪市内
で一番多い平野区だから、
近隣の子どもたちを集めて
絵本会をしたいという参加
者の夢が実現。



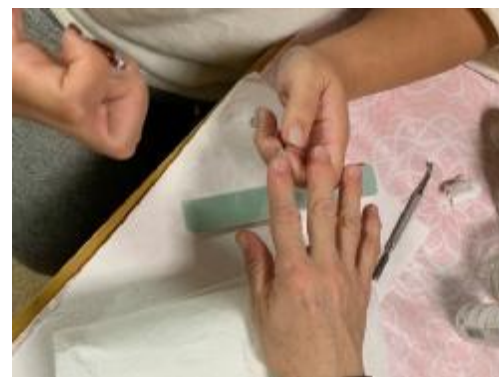
障がいが あっても 手伝いたい

ゆったりとした時間が流れる
食堂で「障がいがあっても
ボランティアしたい」という希
望を一日体験として実現し
ました。



福祉の専門家が 高齢住民へ ネイルをしたい

日本保健福祉ネイル協会に
所属する**20**代の住民が、高
齢者にネイルをしたいとイベ
ントを開催。女性の指先が
華やぎました。



連携する地元商店会の店主やスタッフが先生となる 「まちゼミ」を定期的に開催（次年度も継続）

JR平野駅前には2つの商店街（メガロタウン5番街商店会、平野宮町商店会）があり、イズミヤ内の地域食堂では定期的に商店街の店舗の店主が先生になるワークショップやミニ授業（まちゼミ）を開催予定。**1000**戸の住民と商店街の店舗をつなげることで、認知拡大と売り上げを高めることを目的としています。

メガロタウン5番街商店会 イタリア料理店 「ちえるきお」

JR平野駅前で人気を集めるイタリア料理店。店主の人柄もよく、「まちゼミ」では住民に向けての健康的な料理づくりをテーマに情報発信。



平野宮町商店会 ペットショップ 「FailyTail」

ペットのフード・グッズだけでなく、トリミングにも対応。ペットを飼っている住民が多いので、犬の育て方のレクチャーの講義を予定しています。



※2020年3月に予定をしていた上記「まちゼミ」は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため延期に。
Facebookなどのページで、お店の紹介やミニ講義の内容を情報発信する予定。

持続可能な経済モデル

イズミヤの店舗内の地域食堂

平野宮町みんな食堂

概要



当事者と企業の双方のメリット



雇用した
障がい者スタッフ



福祉みんな食堂 ● ● ●
新しい障がい者雇用。新しいCSR。

当事者:2年間限定でゆるやかな時間が流れる地域食堂に勤務し、はたらくチカラを育てていく。

企業:食堂で働くことで、2年後に本社に帰った際に、戦力になりえる力を食堂で育てていく。

習得する「生きるチカラ」

料理をつくる 清掃をする

調理や作業の中にある「段取りを考える」「整理整頓をする」「掃除をする」など、作業を進めるチカラを学びます。



通い続ける 体力を維持する

電車に乗る、突発的な遅延に対応する、毎日の出勤を維持する。会社で働くために必要な「勤怠」のチカラを育みます。



顧客と話す 報連相をする

お客様やスタッフとコミュニケーションを取る。報告・連絡・相談をするなど、はたらく基本となるチカラを身に付けます。



企業の障がい者雇用を獲得するため、 人材獲得に向けて開拓・訪問・打ち合わせを重ねました



◆企業へのアプローチ

大阪府内の障がい者雇用未達成の約**300社**の企業に連絡



◆企業へ個別訪問

- ・化粧品の開発企業
- ・新聞社の子会社
- ・ホテル経営の企業
- ・ドラッグストアチェーン企業
- ・福祉のシステム開発の企業
- ・通信系の大手企業
- ・福祉施設への人材派遣企業
- ・金属の製造企業



◆障がい者雇用の出向案件の可能性

上記の中で具体的に進んでいるのは**3社**



◆まず1社の契約が決定

- ・精神障がい者…2名
- ・知的障がい者…1名
- ・3月中旬から出向での勤務スタート

次年度以降に向けて、企業からの業務委託に加えて、
休眠預金の助成金へエントリー中。

ヒューファイナンスおおさか
一般財団法人大阪府地域支援人権金融公社

06-6581-8624 お問い合わせはこちら

ホーム > 実行団体の公募

実行団体の公募

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく実行団体の公募に関する情報を掲載しています。

| | | |
|-------------|------|--------------|
| 公募説明資料 | 公募日程 | 公募要領 提出書類 |
| 実行団体の 申請 | Q&A | 申請団体の公表 |

1. 公募説明資料

公募説明会の資料PDF、パンフレットPDFを掲載いたしました。以下よりご覧下さい。

【資料】
公募説明会資料
PDF形式

【パンフレット】
ひと・まち・げんき局、
局
PDF形式

【パンフレット】
公募説明会案内
PDF形式

2019年度「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく
実行団体公募

内容：**2020年4月～2022年3月**
(**300万円×3年間**)

食堂の運営、まちゼミなど商店会と連携した取り組みを継続的に実施します。